

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	生涯学習推進事業(岱明)		担当課 【2】	コミュニティ推進課(岱明町公民館)						
			評価者(担当者)	岸田 稔						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり						重点 施策【4】		
	主要施策(節)	(2)社会教育の充実								
	施策区分	(2)生涯学習の推進							<input checked="" type="checkbox"/> 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 社会教育法 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【 市教育振興基本計画 】 <input type="checkbox"/> 該当なし		年度予定	:	金額	千円【				
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務									
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】		款	10	項	5	目	2	細目	11

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又は ニーズがあるのか) 【8】	<p>少子高齢化や人間関係の希薄化が進むなか、生きがいつくり・仲間づくり・健康増進などに寄与する生涯学習の場が必要とされている。市民のニーズに応じて多様な学習内容・機会を提供し、生きがいと連帯意識が得られる生涯学習推進の役割を果たすことが、公民館講座に求められている。幅広い年齢層の市民を対象としたより適切な講座の企画や、受講者数の増加・確保が課題である。</p>
対象(誰、何に対して) 【9】	市民
意図(どのような状態に したいのか) 【10】	<p>学習・文化・健康スポーツ活動を通じて市民が交流し心の絆を深める、広い意味での学びの場を提供する。それにより、さらに充実した市民生活の実現と、より心豊かな地域づくりを目指す。</p>

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 サークル 】
事務事業の具体的内容 【14】	<p>生きがいと喜びが得られる生涯学習の推進のため、活動の機会を提供する。</p> <p>①主催講座 ハワイアンフラ、絵手紙、クラシックギター、骨盤デトックスエクササイズ等</p> <p>②自主講座 フォークダンス、詩吟、囲碁、英会話、フラワーアレンジメント、骨盤体操等</p>
	<p>事務事業を構成する細事業 【15】</p> <p>⇒</p> <p>① 岱明町公民館主催講座事業</p> <p>② 公民館サークル活動(自主講座)事業</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p>

《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
投入 コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	%				
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	409	429	410	406	
	【16】 小 計	409	429	410	406	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0		
	職人 員件 の費	職員人工数	0.72	0.70	0.70	0.70	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
【17】 小 計	4,093	3,927	3,927	3,927			
合 計		4,502	4,356	4,337	4,333		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 岱明町公民館主催講座事業	市が主催して各種講座を開催する。	講座開催回数	回	106	77	68	70
② 公民館サークル活動(自主講座)事業	各サークルが主催して各種講座を開催する。	講座開催回数	回	308	283	284	300
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 主催講座受講者数	年間延べ人数	人	1,800	2,000	2,000	1,800
			2,017	1,770	1,499	
2 自主講座受講者数	年間延べ人数	人	10,000	10,000	10,000	11,000
			10,202	11,734	11,121	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	多くの市民が公民館講座を楽しみ・生きがいにしており、生涯学習のニーズに応えるべく、多様な学習機会を提供する公民館講座の継続は不可欠である。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	生涯学習のニーズに応えた新たな講座を企画し、内容の充実を図るとともに、広報やホームページで積極的にPRすることで、生涯学習の機会が創出される。またこの学習活動の輪を自主サークル活動へと広げることで更に成果が向上する。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	地域での生涯学習の拠点としての役割を果たしていくには、公民館講座事業の継続は不可欠である。そのためにも、引き続き講師や受講生にアンケートを実施し講座内容の充実を図ることで、地域の特性と市民ニーズに合った魅力ある生涯学習の講座を提供していく。
昨年からの見直し・改善状況【32】	健康志向の高まりもあり、骨盤エクササイズ(夜間講座)は勤労者や若年層の幅広い層の受講者が増えた。また、好評を得て継続している講座と新たな発見体験をする講座を交えながら、世代間交流が出来るよう検討を行った。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	市民のニーズに応じて生涯学習を中心とした社会教育の充実を目指し、より多くの市民が学べる魅力ある講座の開催に努める。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	---	----------------